

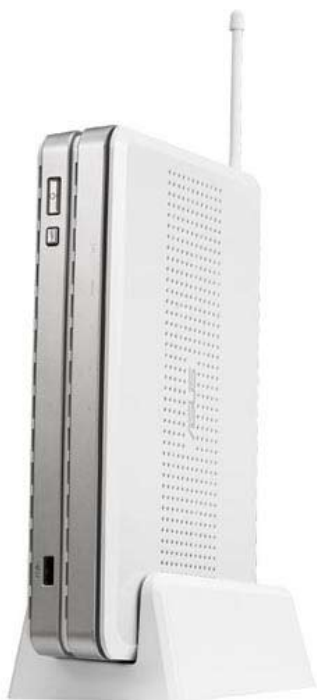


多機能無線ストレージルータ

WL-700gE

ユーザーマニュアル

(802.11g / 802.11b 無線ネットワーク)



J2393

2006年 7月

お問合せ先

ASUSTeK COMPUTER INC.

所在地:	15 Li-Te Road、 Beitou、 Taipei 11259
一般 (電話):	+886-2-2894-3447
ウェブサイトアドレス:	www.asus.com.tw
一般 (FAX):	+886-2-2894-7798
一般 E メール:	info@asus.com.tw

テクニカルサポート

一般 サポート (電話):	+886-2-2894-3447
オンライン サポート:	http://support.asus.com

ASUS COMPUTER INTERNATIONAL (アメリカ)

所在地:	44370 Nobel Drive、 Fremont、 CA 94538、 USA
一般 (FAX):	+1-510-608-4555
ウェブサイトアドレス:	usa.asus.com

テクニカル サポート

一般 サポート (電話):	+1-502-995-0883
オンライン サポート:	http://support.asus.com
ノートパソコン (電話):	+1-510-739-3777 x5110
サポート (FAX):	+1-502-933-8713

ASUS COMPUTER GmbH (ドイツ&オーストリア)

所在地:	Harkort Str. 25、 D-40880 Ratingen、 Germany
一般 (電話):	+49-2102-95990
ウェブサイトアドレス:	www.asus.com.de
一般 (FAX):	+49-2102-959911
オンライン コンタクト:	www.asus.com.de/sales

テクニカルサポート

コンポーネント サポート	:+49-2102-95990
オンライン サポート:	http://support.asus.com
ノートパソコンサポート	:+49-2102-959910
サポート (FAX):	+49-2102-959911

もくじ

1. 概要	5
1) システム条件	5
2) パッケージの内容	5
3) リアパネル	5
4) フロントパネル	6
2. ADSL モデムへの接続とユーティリティのインストール	7
1) ユーティリティをインストールする	7
2) EZSetup で無線ルータをセットアップする	11
3. 無線ルータの設定	17
1) ケーブル（有線）接続	17
2) 無線接続	17
3) 有線 / 線接続での IP アドレス設定	17
4) 無線ルータの設定	18
4. 無線ルータの機能	24
1) 無線暗号の設定	24
2) LAN でバーチャルサーバを設定する	25
3) LAN でバーチャル DMZ を設定する	26
4) DDNS の設定	26
5) 帯域幅の管理	30
5. ユーティリティの機能	33
1) USB オートコピー機能	33
2) 無線データの共有	34
3) Download Master を使用する	37
4) ウェブサイトで写真を共有する	40
5) Message Board	44
6) ウェブカメラ	47
7) 共有プリンタをセットアップする	50
5. トラブルシューティング	54

本書について

本書には、WL-700gE 無線ルータのご利用にあたり、必要な情報が記載されています。各章では以下のトピックスを扱います。

• Chapter 1: 製品の概要

シンプルで分かりやすい説明とイラストで、ASUS WL-700gE の優れた機能をご紹介します。WL-700gE 無線ルータの外観、特長、基本的な操作方法など、様々な機能をすぐにマスターすることができます。

• Chapter 2: ADSL モデムへの接続とユーティリティのインストール

ADSL モデムの接続方法およびソフトウェアのインストール方法について説明しています。

• Chapter 3: 無線ルータの設定

無線ルータの設定方法についてご紹介しています。

• Chapter 4: 無線ルータの機能

WL-700gE の特殊機能の使い方についてご紹介しています。

• Chapter 5: アプリケーションの機能

WL-700gE でご利用になれるソフトウェアの使い方についてご紹介しています。

このマニュアルの表記について

本製品を正しくお取り扱い頂くために以下の表記を参考にしてください。



注意: 本製品を取り扱う上で、コンポーネントへの損害を避けるための情報です。



注記: 本製品を取り扱う上でのヒントと追加情報です。

詳細情報

本書に記載できなかった最新の情報は以下で入手できます。添付ソフトウェアの最新版があります。必要に応じてご利用ください。

1. ASUS ウェブサイト (<http://www.asus.co.jp/>)

各国や地域に対応したサイトを設け、ASUS のハードウェア・ソフトウェア製品に関する最新情報が満載です。

2. 追加ドキュメント

パッケージ内容によっては、追加のドキュメントが同梱されている場合があります。注意事項や購入店・販売店などが追加した最新情報などです。これらは本書がサポートする範囲には含まれていません。

1. 概要

1) システム条件

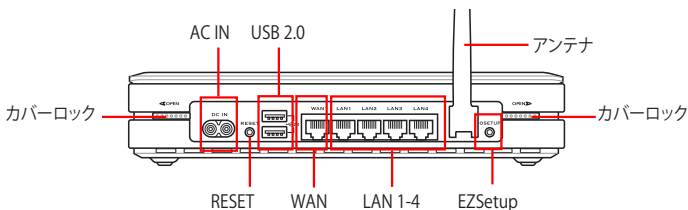
WL-700gE を使って無線ネットワーク環境を設定するために必要な条件です。

1. ADSL/ ケーブルモデムおよびブロードバンドサービスを利用するためのアカウント
2. 10 Base-T または 10/100 Base-TX イーサネットアダプタ (RJ-45 LAN ポート使用) 搭載の、LAN に接続されているコンピュータ
3. 802.11g/b 無線接続対応、または 802.11g/b 無線 LAN カード搭載の無線クライアント (PDA やノートパソコン)
4. コンピュータと無線クライアントに TCP/IP プロトコルコンポーネントとウェブブラウザがインストールされていること

2) パッケージの内容

- WL-700gE 無線ルータ × 1
- アンテナ (ホワイト、2dbi) × 1
- 電源ケーブル × 1
- RJ-45 イーサネットケーブル (ストレートスルー) × 1
- サポート CD (ユーザーマニュアル含む) × 1
- ルータスタンド × 1
- ユーザーマニュアル × 1

3) リアパネル



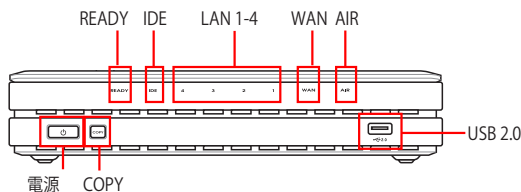
RESET (リセット)

RESET ボタンを 10 秒押しすと、工場出荷状態に戻ります。

EZSetup

EZSetup 設定ウィザードに使用するボタンです。

4) フロントパネル



電源ボタン (ハードディスク電源インジケータ/ 電源スイッチ)

オフ ハードディスクが接続されていない、または電源オフ
 オン ハードディスク接続済み

*ハードディスクをシャットダウンする際は、このボタンを押し、10 秒待機してください。

COPY(コピー)

USB 記憶装置内のデータをWL-700gEのハードディスクにコピーします。

READY(レディ)

オフ 電源オフ
 オン システムの電源がオンで、使用可能な状態
 点滅 (低速) USB 記憶装置が USB2.0 ポートに接続されている状態
 点滅 (高速) USB 記憶装置からデータをコピー中

LAN (Local Area Network) 1-4

オフ 電源オフ
 オン イーサネットデバイス 1台がポートに接続されている状態
 点滅 有線LANにてデータ送信中

AIR (無線 LAN)

オフ 電源オフ
 オン 無線 LANが使用可能
 点滅 無線LANでデータ送信中

WAN (Wide Area Network)

オフ 電源オフ
 オン ADSL または ケーブルモデムに接続済み
 点滅 WANと通信中

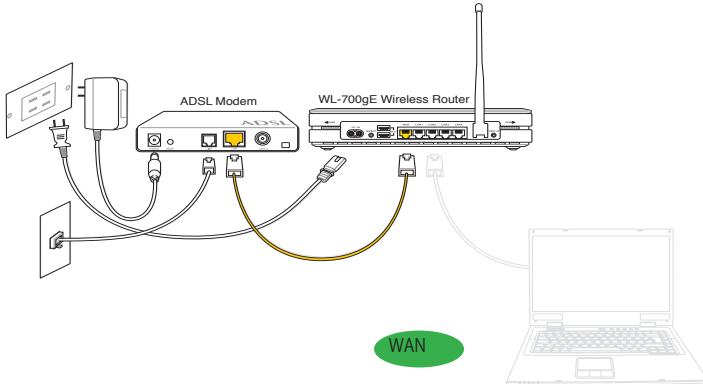
USB2.0

USB 記憶装置 (USBハードディスクやUSBフラッシュ) との接続用

2. ADSL モデムへの接続とユーティリティのインストール

1) ユーティリティをインストールする

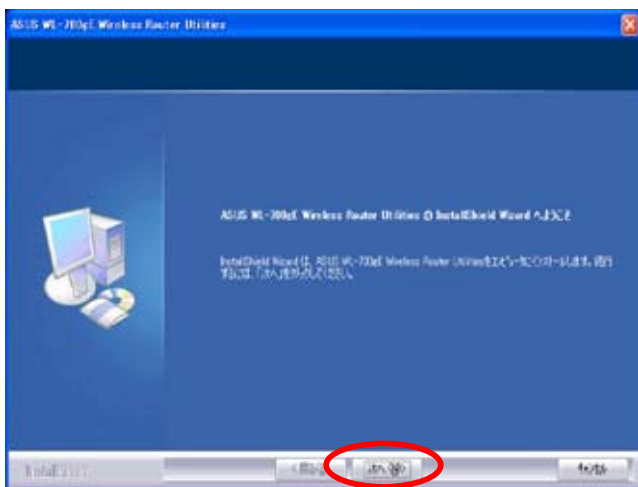
1. WL-700gE 無線ルータを ADSL またはケーブルモデムに接続します。下の図を参照してください。



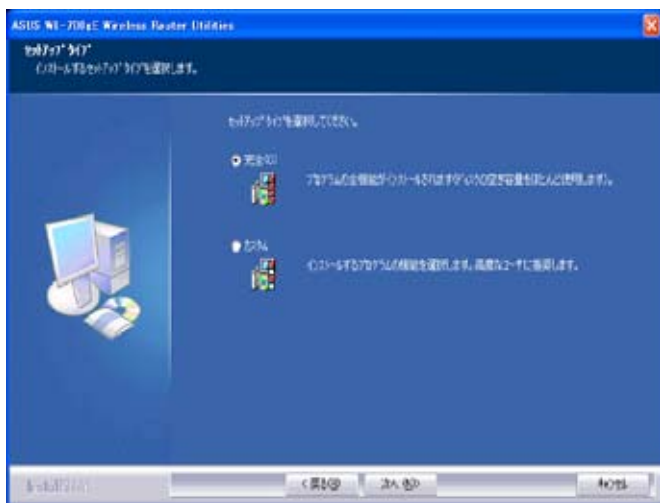
2. サポート CD をコンピュータの光学ドライブに入れ、ユーティリティインストールプログラムを起動します。「インストール言語」を選択し、「ASUS 無線ルータユーティリティをインストール」をクリック。その後は画面の指示に沿ってインストールを完了してください。



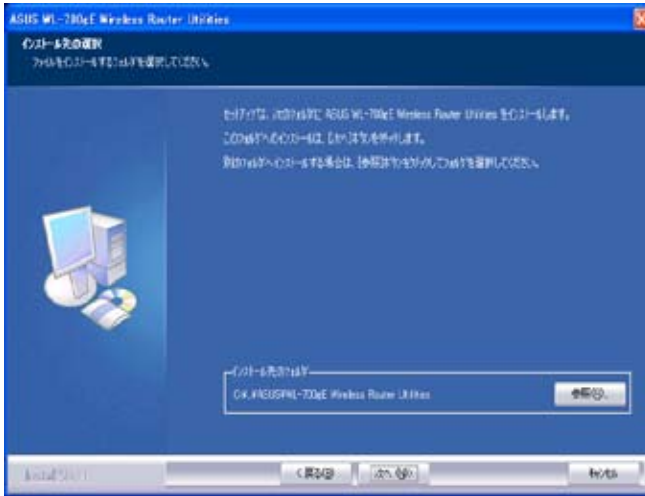
3. 起動画面で「次へ」をクリックし、インストールを開始します。



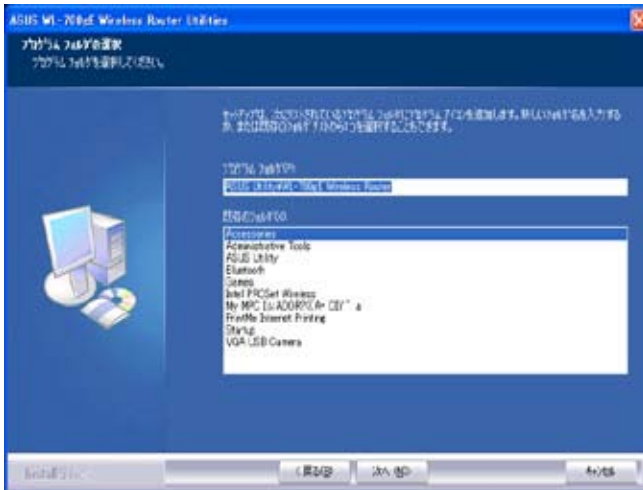
4. インストールタイプを選択し、「次へ」をクリックします。(初心者の方は「完全」を選択することをお勧めします)



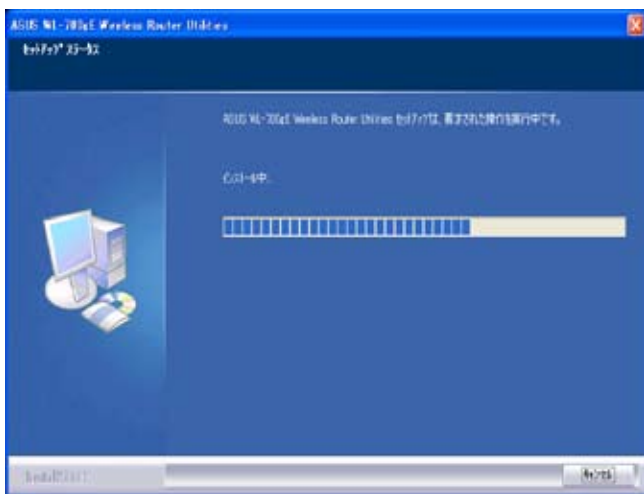
5. 「インストール先の選択」画面で「次へ」をクリックします。または「参照」をクリックし、ソフトウェアをインストールする場所を選択します。



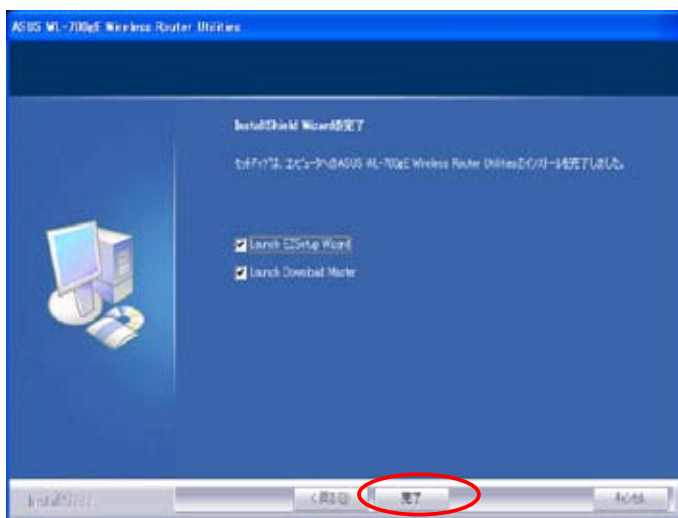
6. テキストボックスのフォルダリストから保存先のフォルダを選択するか、またはテキストバーで新規フォルダ名を入力し、「次へ」をクリックします。選択または作成した新規フォルダに、プログラムアイコンが追加されます。



7. プログラムがコンピュータにコピーされます。コピー完了までに数分かかります。



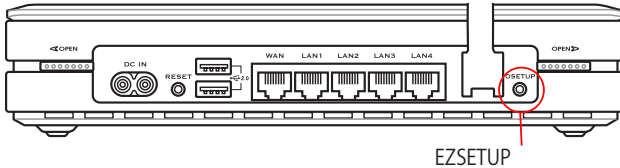
8. 「完了」をクリックし、インストールを終了します。



2) EZSetup で無線ルータをセットアップする

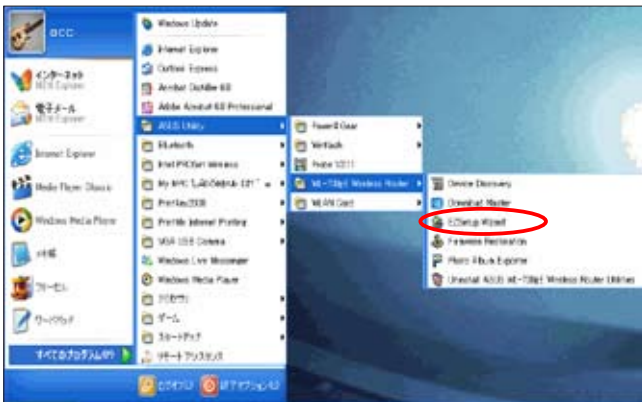
始める前に、ASUS ユーティリティをインストールしイーサネットと無線が使用できるコンピュータが必須です。

1. READY LED インジケータが点滅するまで、無線ルータのリアパネルにある EZSetup ボタンを押します。



EZSetup で無線接続が不安定な場合は、EZSetup ではなく有線接続を利用してください。

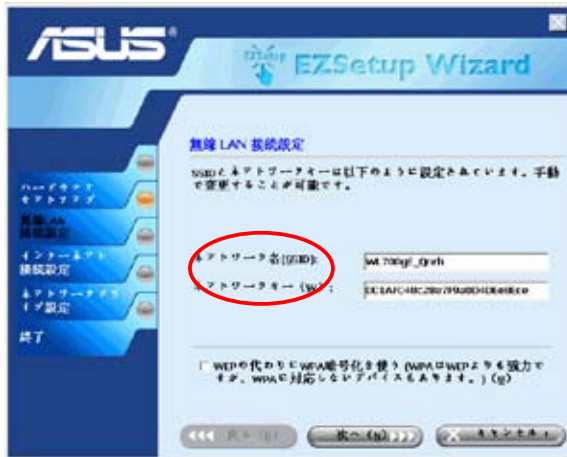
2. EZSetup を起動します。(スタート → すべてのプログラム→ASUS Utility → WL-700gE Wireless Router → EZSetup Wizard)



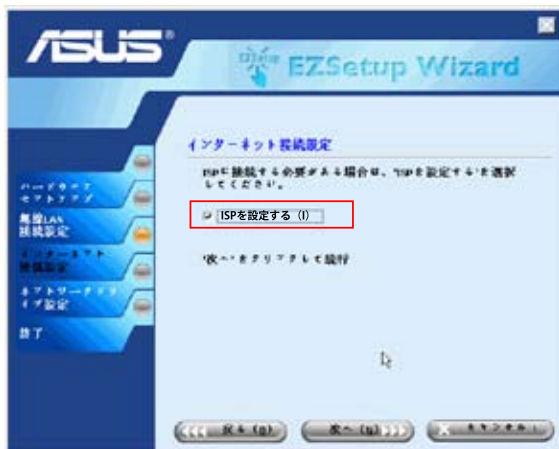
3. ユーティリティでEZSetup ボタンをクリックし、WL-700gE 無線ルータを検索します。検索には数秒かかります。



4. 無線ルーターをはじめて設定する場合、下の画面が表示されます。SSID とネットワークキーは手動でも自動でも設定可能です。次へ進むには「次へ」をクリック。



5. プロバイダ (ISP) に接続するには、「ISP を設定する」を選択します。ISP 情報を設定するには「次へ」をクリックします。



6. 契約しているプロバイダの接続タイプを選択し、「次へ」をクリックして ISP 情報を設定します。



プロバイダの要求によっては、IP アドレスやユーザーネーム、パスワード等の入力が必要ですが、詳細は契約しているプロバイダにお問い合わせください。

7. このページではネットワークマストレージを設定します。WL-700gEのハードディスク用のドライブを指定し、「デスクトップにショートカットを作成する」にチェックを入れ「次へ」をクリック。



8. 完了すると上のページが表示されます。「無線LAN設定をプリント/保存」をクリックし設定を印刷してください。「終了」をクリックしてEZSetupは終了です。



今後の無線接続の設定のためにも、ネットワーク情報を保存・印刷することを強くお勧めします。



設定が終了すると、右のアイコンがデスクトップに表示されます。



無線が利用できるコンピュータから WL-700gE に接続することができます。設定の前には無線カードドライバが正しく取り付けられ、正常に動作していることを確認してください。

1. コントロールパネル→ネットワーク接続を開き、無線のアイコンを右クリック→プロパティ→無ワイヤレスネットワークのタブを開きます。WL-700gE を選択し、「OK」ボタンをクリック。
2. 無線ルータにWEP暗号化を選択した場合、ネットワークキーに欄にWEPキーを入力する必要があるため、次へ進むには「OK」をクリック。



3. 認証方法の設定は、「認証」タブを選択します。ネットワーク内に認証としてRADIUSサーバがある場合、「このネットワークで IEEE 802.11X 認証を有効にする」にチェックを入れてください。



3. 無線ルータの設定

メモ：1) 最初は無線接続が不安定で、設定に問題が生じることがあるため、始める前にケーブル（有線）接続を使って初期設定を行うことをお勧めします。
 メモ：2) ASUS は無線設定をスピーディに行うための EZSetup ボタンを提供しています。EZSetup で無線設定を行う場合は、第 6 章を参照してください。

ASUS 無線ルータは、様々な使用目的に応じて設定を変更することができます。工場出荷時の初期設定にはそのまま使えるものもありますが、変更が必要なものもあります。ASUS 無線ルータをご利用になる前に、利用可能な環境を作るため、基本的な設定を確認してください。ASUS 無線ルータは、ウェブブラウザから設定することができます。ASUS 無線ルータに接続し（直接またはハブ経由）、ウェブブラウザを設定ターミナルとして起動するには、ノートパソコンまたはデスクトップパソコンが必要となります。接続方法はケーブル接続でも、無線接続でもかまいません。無線接続の場合は、IEEE 802.11g/b 対応装置（ASUS WLAN カードなど）をノートパソコンにあらかじめインストールしておく必要があります。また、WEP 設定を解除し、無線 LAN 装置の SSID を“default”に設定します。ASUS 無線ルータを設定する場合、または ASUS 無線ルータ 経由でインターネットに接続する場合は、正しい TCP/IP 設定が必要です。通常、TCP/IP 設定は、ASUS 無線ルータの IP サブネットにあります。



メモ：コンピュータを再起動する前に、ASUS 無線ルータの電源を入れ、準備しておきます。

1) ケーブル（有線）接続

ASUS 無線ルータには RJ-45 ケーブル 1 本が付属しています。ASUS 無線ルータには自動クロスオーバー切り替え機能が搭載されているため、ストレートケーブルとクロスケーブルの両方を使用することができます。ケーブルの片方を ASUS 無線ルータ本体背面の WAN ポートに接続し、もう片方を ADSL / ケーブルモデムのイーサネットポートに接続します。

2) 無線接続



メモ：ケーブル接続でルータを設定する場合、このセクションはとばしてお読みください。

ASUS 無線ルータに関する無線アダプタのユーザーマニュアルを参照してください。ASUS 無線ルータの既定の SSID は“default”（小文字）です。暗号化は無効となっており、オープンシステム認証が使用されています。

3) 有線 / 無線接続での IP アドレス設定

自動的に IP アドレスを取得する

ASUS 無線ルータは DHCP サーバに対応していますので、IP アドレスを自動的に取得するよう PC を設定し、コンピュータを再起動する方法が最も確実です。この方法で、正しい IP アドレス、ゲートウェイ、DNS（ドメイン・ネーム・サーバ）を ASUS 無線ルータから取得することができます。





メモ:PC を再起動する前に、ASUS 無線ルータ の電源を入れ、準備しておきます。

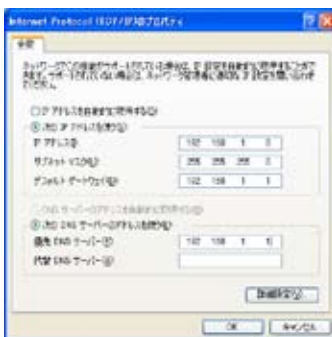
手で IP アドレスを設定する

手で IP アドレスを設定する場合、下記の ASUS 無線ルータの初期設定を利用してください。

- IP アドレス 192.168.1.1
- サブネットマスク 255.255.255.0

PC の IP アドレスを手動で設定した場合、同じセグメントに存在する必要があります。例：

- IP アドレス 192.168.1.xxx (xxx は 2 から 254 までの任意の数字で、他の装置により使用されていないもの)
- サブネットマスク 255.255.255.0 (ASUS 無線ルータ と同じ)
- ゲートウェイ 192.168.1.1 (これは ASUS 無線ルータ です)
- DNS 192.168.1.1 (ASUS 無線ルータ の IP アドレスまたは独自の IP アドレス)



4) 無線ルータの設定

①



ウェブブラウザに次のアドレスを入力してください：
http://192.168.1.1

②



初期設定値

ユーザー名 :admin /パスワード :admin

③



ログインした後、ASUS 無線ルータ のホームページが表示されます。ホームページには、ルータのメインメニューを設定するためのクイックリンクが表示されます。

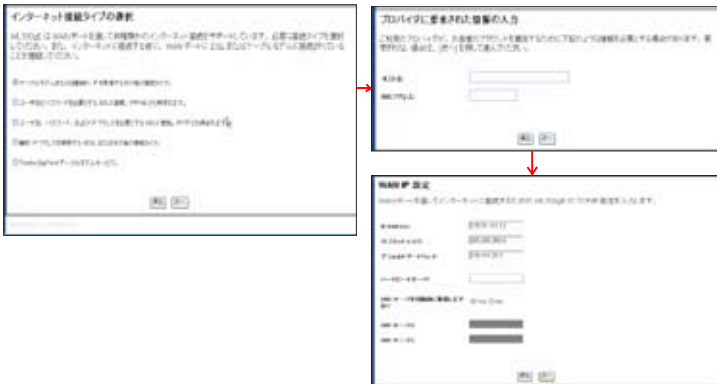
メインページで「Configuration」を選択し、設定画面を表示します。



ASUS 無線ルータ WL700gE は、5 種類のインターネットサービス（ケーブル、ADSL (PPPoE、PPTP、静的 IP アドレス)、および Telstra BigPond) に対応しています。各サービスにはそれぞれ独自のプロトコルと標準が存在するため、セットアップ中に WL-700gE は異なる設定を要求します。各サービスに適した正しい接続タイプを選択してください。

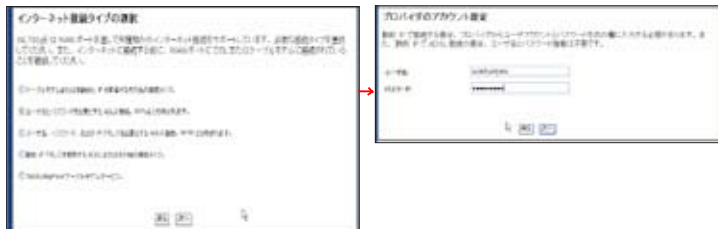
ケーブルユーザー

ケーブルまたはその他の自動的に IP の割り当てを行うプロバイダを利用している場合は、「ケーブルモデムまたは自動的に IP を取得するその他の接続タイプ」を選択してください。ケーブルをご利用の場合は、プロバイダがホスト名、MAC アドレス、ハートビートサーバなどを提供していることがあります。その場合は、設定ページにこれらの情報を入力します。これらの情報が提供されていない場合は、「次へ」をクリックして次へ進みます。



PPPoE ユーザー

PPPoE サービスユーザーは、2つ目の回線を選択してください。プロバイダにより提供されたユーザー名とパスワードを入力します。



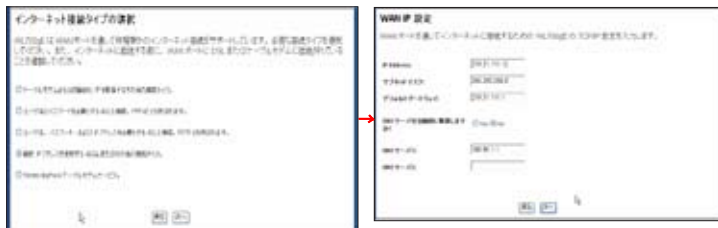
PPTP ユーザー

PPTP サービスをご利用の場合は、プロバイダから提供されたユーザー名、パスワード、IP アドレスを入力します。



静的 IP ユーザー

ADSL またはその他の静的 IP アドレスを使用する接続タイプの場合、4つ目の回線を選択し、プロバイダにより提供された IP アドレス、サブネットマスク、初期設定値ゲートウェイを入力します。特定の DNS サーバを指定するか、または自動的に DNS サーバを取得するよう指定することができます。



接続タイプを設定した後、無線インターフェースの設定を行います。まず、SSID (サービスセット ID) を設定します。SSID は WLAN で送信されるパケットに付随する一意の識別子です。この識別子は、無線装置が WLAN で通信を行おうとする際に、パスワードを模倣します。SSID は WLAN を見分けるため、WLAN に接続しようとしているアクセスポイントと無線装置は、同じ SSID を持つ必要があります。



送信データを保護するには、中または高のセキュリティレベルを選択してください。

中: 同じ WEP キーを持つユーザーだけがこのアクセスポイントに接続し、64 ビットまたは 128 ビット WEP 暗号でデータ通信を行うことができます。

高: 同じ WPA 事前共有キーを持つユーザーだけがこのアクセスポイントに接続し、TKIP 暗号でデータ通信を行うことができます。



ASUS 無線ルータ 設定ページには、WEP キーを設定するための便利な機能があります。キーボードを数回押すだけでパスフレーズを設定することができ、WEP キーの 4 つの文字列が自動的に作成されます。ASUS 無線アダプタユーザーは、無線クライアントでルータに接続する際に、長く複雑な WEP キーを入力する必要がなくなりました。パスフレーズで無線環境を簡単に設定できます。

たとえば、WEP-64 ビット暗号化モードを選択し、「Passphrase」欄に暗証番号 11111 を入力します。右図のように、次の WEP キーが生成されます。ノートパソコンにパスフレーズと WEP キーを記録し、「次へ」をクリックして設定完了です。



ASUS ワンタッチ・ウィザード

次に、無線ルータと無線クライアントとの間に暗号化無線接続を設定します。ASUS 無線アダプタとユーティリティをインストールした場合は、「スタート」→「プログラム」→「ASUS Utility」→「WLAN Card」→「One Touch Wizard」をクリックして接続設定ユーティリティを開きます。



1. 起動画面が表示されたら「次へ」をクリックします。



2. 「既存の無線LANに接続します」を選択し、利用可能なすべてのネットワークを検索画面に表示させます。WL700gEを選択し、「次へ」を押します。



3. 暗号化の設定をします。WL-700gE で設定したとおり、キーの長さを64ビット (10ケタ) に設定し、「自動割り当て」を選択し、「パスフレーズ」欄に「11111」と入力してください。



4. クライアントが無線ルータに接続されるまで、数秒かかります。この後、画面には接続状態を示すメッセージが表示されたら「次へ」をクリックしてください。



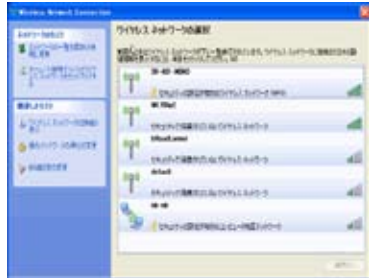
5. IP 設定画面が表示されます。ネットワーク状態に合わせて、クライアント IP アドレスを設定します。設定が完了したら、「終了」をクリックします。



Windows Zero Config サービス

ASUS 以外の無線アダプタをご利用の場合は、Windows® Zero-Configure 機能でコンピュータと無線ルータ間の無線ネットワークを設定することができます。

1). クライアントのデスクトップで「マイネットワーク」を右クリックし、「プロパティ」をクリックします。「ネットワーク接続」ウィンドウが表示されますので、「ワイヤレスネットワーク接続」アイコンをダブルクリックします。利用可能な無線ネットワークを示すウィンドウが表示されます。WL 700gE を選択し、「接続」をクリックします。



2). 接続の設定には数秒かかります。

接続が確認されると、ネットワークキーを入力するようメッセージが表示されます。ノートパソコンであらかじめ設定した 10 ケタのキーを入力し、「接続」をクリックします。以上で接続の設定は完了です。



詳細機能の設定

ASUS 無線ルータのその他の設定を行うには、メニューの各アイテムをクリックしてサブメニューを表示し、画面の指示に従ってください。カーソルを各アイテム上に移動すると、ヒントが表示されます。

メモ: 無線ルータを設定するには、サポート CD のユーザーマニュアルを参照してください。

4. 無線ルータの機能

1) 無線暗号の設定

WL-700gE は家庭、SOHO、企業ユーザーなどの異なるニーズに対応するため、様々な暗号および認証方法をご用意しています。WL-700gE の暗号および認証機能を設定する前に、ネットワーク管理者にご相談ください。

「ワイヤレス」 → 「インターフェース」 をクリックし、設定ページを開きます。



暗号化

WL-700gE で対応している暗号化モード: WEP (64bits)、WEP (128bits)、TKIP、AES、TKIP+AES

WEP とは Wired Equivalent Privacy の略であり、64 ビットまたは 128 ビットの静的キーを利用して無線通信のデータを暗号化します。WEP キーを設定するには、「WEP Encryption (WEP 暗号化)」を「WEP-64bits」または「WEP-128bits」に設定し、手動で 4 組の WEP キーを入力してください (64-bits キーには 10 の 16 進数、128-bits キーには 26 の 16 進数が必要です)。また、「Passphrase (パスフレーズ)」欄を入力すると、キーが自動的に生成されます。

TKIP とは、Temporal Key Integrity Protocol を表します。TKIP は無線セッションの各データパケットを暗号化するため、一意のキーを自動的に生成します。

AES は Advanced Encryption Standard の略です。この暗号化方法はより高度なセキュリティを提供しますが、無線暗号の複雑性も高まります。

TKIP+AES は、無線ネットワークに WPA と WPA2 のクライアントが共存する場合に使用されます。

認証

WL-700gE で対応している認証方法: オープン、共有鍵、WPA-PSK、WPA、Radius 80.211x

オープン: 無線ネットワークの認証保護を無効にします。オープンモードにおいては、すべての IEEE802.11b/g クライアントがあなたの無線ネットワークに接続することができます。

共有: 現在、認証で使用されている WEP キーを使用します。


WPA と WPA-PSK: WPA は WiFi-Protected Access の略です。WPA は企業ネットワーク向け WPA と、家庭および SOHO ユーザー向け WPA2 の 2 種類のセキュリティモードを提供しています。企業ネットワークでは、WPA が既存の RADIUS サーバを使用して認証を行います。家庭または SOHO ユーザーの場合、事前共有鍵 (PSK) を提供し、ユーザーの識別を行います。事前共有鍵は 8 ~ 64 文字で構成されます。

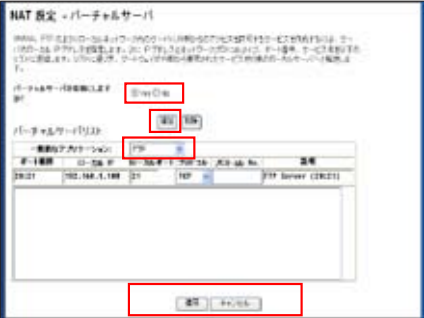
Radius 802.1X: WPA と似て、この方法も認証に RADIUS サーバを利用します。WPA との違いは、WPA は TKIP または AES 暗号化方法を採用しているのに対し、Radius 802.1X は暗号化を提供していない点です。

認証と暗号化がセットになっている場合、「適用」をクリックして設定を保存した後、無線ルータを再起動してください。

2) LAN でバーチャルサーバを設定する

バーチャルサーバとは、コンピュータがネットワークから特殊なパケットを受信できるようにするための技術です。特定のホストに、内部の LAN と外部の ウェブや FTP サーバなどの間でリンクのような役割を与えます。

- ①  「NAT 設定」 → 「バーチャルサーバ」をクリックし、NAT 設定ページを開きます。

- ②  「Yes」を選択しバーチャルサーバを有効にします。
(例: ホスト 192.168.1.100 をバーチャルサーバとして設定し、そのポート 20 と 21 (FTP) を外部ユーザーに開放できます) これにより外部からの FTP 要求がホストに転送されます。有効にしたら「適用」をクリックします。

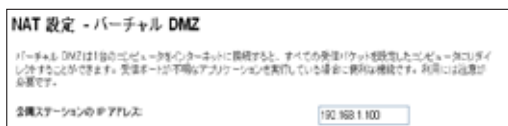
3) LAN でバーチャル DMZ を設定する

内部ホストをインターネット上に公開し、このホストが提供するすべてのサービスを外部ユーザーが利用するには、ホストのすべてのポートを開くためにバーチャル DMZ 機能を設定する必要があります。この機能はホストが HTTP サーバや FTP サーバなど複数の役割を担う場合に便利ですが、安全性は低下します。

1. 「NAT 設定」 → 「バーチャル DMZ」 をクリックします。



2. ホストの IP アドレスを入力します。

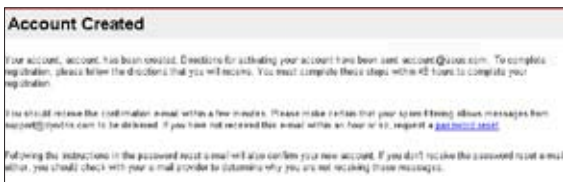


4) DDNS の設定

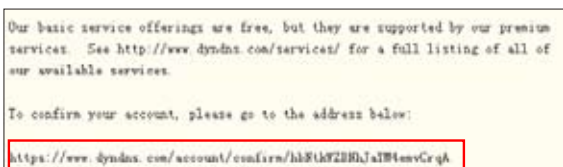
静的IPを使用していて、ホストやサーバをインターネットに公開する場合は、便宜上、静的IPアドレスにドメイン名を登録します。ただし、動的IPをご利用の場合は、IPアドレスが随時変更されるため、アドレスをDNSサーバに割り当てることができません。そのため、WL-700gEではDynamic DNS (DDNS) 機能を搭載しました。DDNS によって動的IPにドメイン名を割り当てることが可能になります。この機能を利用するには、まず、DDNS サービスプロバイダ (DynDNS.org 等) で登録を済ませてください。

1. WL-700gE ウェブ設定画面の上にある「詳細設定」をクリックし、「IP 設定」→「その他」をクリックします。「Yes」を選択してDDNS クライアントを有効にし、DDNS サーバを選択します。(次ページの図を参照)
2. DDNS アカウントがない場合は、DynDNS.org で無料お試しアカウントを取得することができます。「無料体験」をクリックし、DynDNS.org の登録画面を開きます。

5. 「Create Account (アカウント作成)」を押すと、登録したメールアドレスに確認メールが送信されたという内容のメッセージが表示されます。受信トレイを開き、メールを確認します。



6. 確認メールを開き、リンクをクリックして DynDNS 登録画面へアクセスします。ここで、アカウントをアクティブにします。



7. 「Login (ログイン)」をクリックします。



8. ユーザー名とパスワードを入力してログインします。



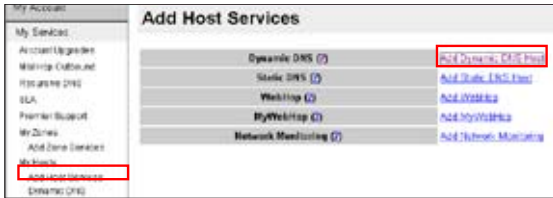
9. ログインすると、ウェルカムメッセージが表示されます。



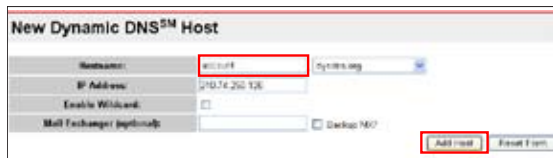
10. 「Services (サービス)」タブを選択します。



11. 「Add Dynamic DNS Host (動的 DNS ホストの追加)」をクリックします。



12. 「Hostname (ホスト名)」を入力し、「Add Host (ホストを追加)」をクリックします。



13. 指定のホスト名が作成されました。



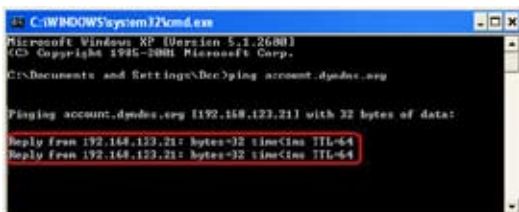
14. WL-700gE DDNS 設定画面に戻ります。「DDNS クライアントを有効にしますか」で「Yes」を選択し、「サーバ」を WWW.DYNDNS.ORG に設定します。次にユーザー名、パスワード、ホスト名を各欄に入力したら、「適用」をクリックして設定を有効にします。



15. DDNS 有効であることを確かめます。「スタート」→「ファイル名を指定して実行」をクリックし、入力欄に「cmd」と入力します。コマンドプロンプトでドメイン名に Ping を打ち、ホストにアクセス可能であることを確認します。



16. 「ping account.dyndns.org」と入力し、<Enter> を押します。IP アドレスから応答があれば、ホストはインターネットからアクセス可能です。



8) 帯域幅の管理

帯域幅の管理は、WL-700gE の各種 IP アドレスやポートに基づき、帯域幅を設定するための機能です。最小帯域幅や最大帯域幅などの帯域幅を固定 IP アドレスや固定ポートなどに割り当て、ダウンロードストリームに使用することができます。また、正しい設定を利用し、アップロード用の帯域幅を NAT 設定に割り当てることができることもできます。



1. WL-700gE ウェブ設定インターフェースで、「帯域幅管理」→「基本設定」画面に入ります。



2. 帯域幅管理機能を有効にします。

3. ダウンロードストリーム

192.168.1.6 のダウンロード用帯域幅を 100 ～ 200 kbps に制限する場合、IP アドレスを入力し、帯域幅ポリシーリストで最低および最高速度を入力します。最低帯域幅は、ネットワークが他のユーザーに使用され、混雑している際に利用します。最低速度が定義されている場合、ネットワーク状況を問わず、最低 100 kbps の通信速度が約束されます。

ダウンロードポリシーリスト			
IP アドレス	ポート	最大 (kbps)	最小 (kbps)
192.168.1.6		200	100

1) すべてのクライアントで FTP ダウンロード速度を定義する場合、IP アドレス欄を空欄のままにし、「ポート」欄に「21」と入力し、適切な速度を設定します。ポート 21 は FTP ダウンロード用に保留されています。

「追加」をクリックして適用します。

ダウンロードポリシーリスト			
IP アドレス	ポート	最大 (kbps)	最小 (kbps)
192.168.1.6	21	200	100

ダウンロードポリシーリスト			
IP アドレス	ポート	最大 (kbps)	最小 (kbps)
192.168.1.6	80	200	100
	21	100	50

2) ウェブアクセス用の帯域幅ポリシーを設定する場合は、ポート番号として「80」と入力し、適切な速度を設定します。

ダウンロードポリシーリスト			
IP アドレス	ポート	最大 (kbps)	最小 (kbps)
192.168.1.100	2702	10	
192.168.1.6	21	100	50
	80	200	100

3) 特定のクライアントに対して帯域幅のルールを設定する場合は、そのクライアントの IP アドレスを入力し、サービスのポート番号を入力してサービスを特定した後、適切な速度を設定します。

ダウンロードポリシーリスト			
IP アドレス	ポート	最大 (kbps)	最小 (kbps)
192.168.1.6		200	100
	21	100	50
	80	200	100
192.168.1.100	2702	10	

4) その他のクライアントにおける残りのアプリケーションの設定については、IP アドレスとポートを空欄にし、その他すべてのサービスに適用可能な速度を入力します。

- NAT 設定
- ポートトリガー
- バーチャルサーバ
- バーチャル DMZ

4. アップロードストリーム

特定ポートのアップロードストリームを制御することもできます。たとえば、192.168.1.2 のポート 2100 のアップロード帯域幅を 10 ~ 80 kbps に制限する場合、まず NAT フォルダのバーチャルサーバ画面を開き、NAT ポリシーを設定します。



バーチャルサーバ設定を有効にし、バーチャルサーバリストにルールを追加します。「適用」ボタンをクリックします。



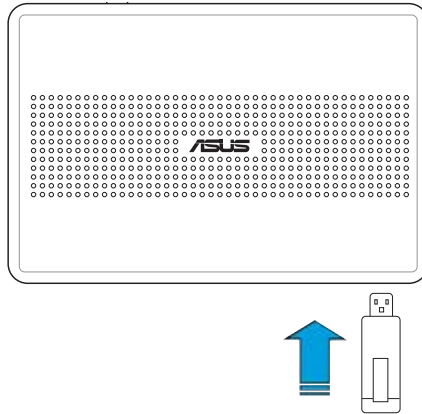
次に「帯域幅管理」設定画面の「アップロードポリシーリスト」に戻り、「ポート」を「2100」、「最大」を「80」、「最小」を「10」に設定し、「追加」ボタンをクリックします。

5. ユーティリティ機能

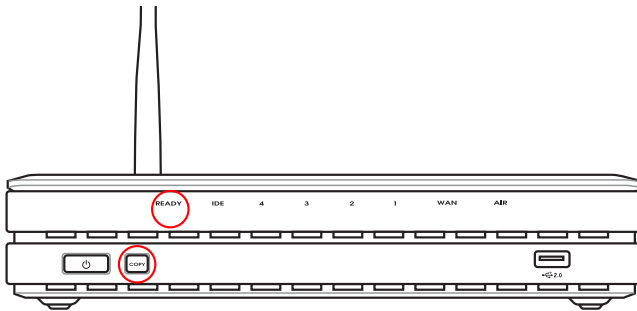
1) USB オートコピー機能

下の手順に沿ってファイルを USB 記憶装置から WL-700gE のハードディスクにコピーします。ファイルは USBCopy ディレクトリに保存されます。

1. USB 記憶装置をWL-700gEのUSB2.0 ポートに接続します。



2. READY LED インジケータが点滅するまで数秒間待ちます。フロントパネルの COPY ボタンを押すと、LED が高速で点滅します。このとき WL-700gE が USB 記憶装置からデータをコピーしています。データの転送が終了すると、LED が点滅から点灯した状態になります。



2) 無線データの共有

このセクションでは、WL-700gE のハードディスク内のデータを LAN ユーザーと共有する方法を記載しました。

1. コンピュータを WL-700gE に接続しブラウザを起動します。ブラウザのアドレスボックスに192.168.1.1を入力し(WL-700gEの初期設定値IPアドレス)、Enterを押します。
2. WL-700gE ウェブ設定インターフェースにログインします。ログインネーム: admin、パスワード: admin (初期設定値)。

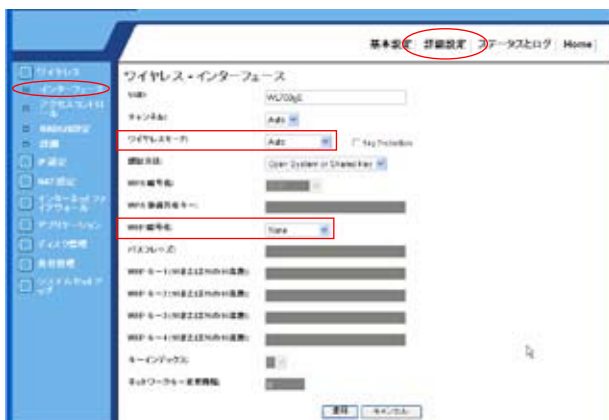


3. Configuration をクリックし、ウェブ設定ページに進みます。



手順4と5ははじめて設定する場合です。EZSetup で既に設定してある場合はこの手順はスキップしてください。

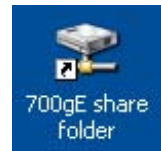
4. 「詳細設定」をクリックし、「インターフェース」を選択。暗号化を無効にするには「ワイヤレスモード」を「Auto」に、「WEP 暗号化」を「None」に設定し「適用」をクリックして手順6に進みます。暗号化を有効にする場合は手順5に進みます。



5. 暗号化を有効にするには、認証方式を WEP 64-bits、WEP 128-bits、または WPA に設定します。WEP には 4 つの WEP キーの入力が必要です (WEP 64bits には 10 の 16 進数、WEP 128bits には 26 の 16 進数)。パスワードを入力してシステムに自動的に WEP キーを作成させることもできます。キーとパスワードは全てメモ等に保存してください。

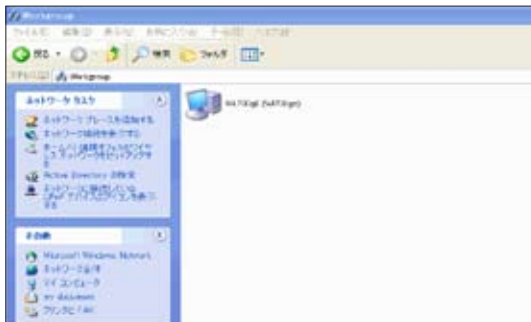


6. デスクトップ上の 700gE share folder アイコンをダブルクリックし、WL-700gE 共有スペースにアクセスします。共有したいファイルを共有フォルダにコピーします。



共有ドキュメントをダウンロードする手順

1. コンピュータを WL-700gE に接続し、「マイネットワーク」を開き「ネットワーク接続を表示する」をクリックします。(WL-700gE とコンピュータが同じワークグループ内にあることを確認します。WL-700gE の初期設定値のワークグループは WORKGROUP です)。

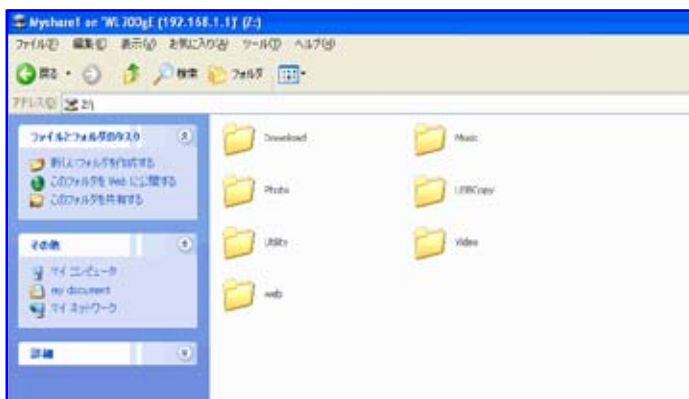




WL-700gEの初期設定値ワークグループはWorkgroupです。コンピュータとWL-700gEが同じワークグループ内にはない場合は、コンピュータにWL-700gEは表示されません。「共有管理・Windows設定」のページでワークグループに設定を変更し、WL-700gEが同じグループ内になるようにしてください。



2. WL700gE アイコンをダブルクリックし、共有フォルダ開きます。USB記憶装置からコピーしたファイルは USBCopy ディレクトリに保存され、時間/日付でリストされます。



3) Download Master を使用する

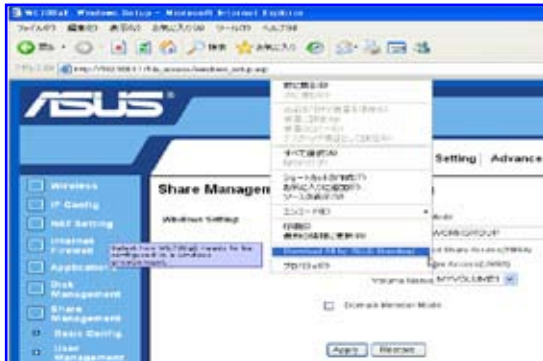
ASUS Utility の Download Master 機能で、HTTP や FTP、BT ダウンロードタスク等の構成ができます。

1. スタート → すべてのプログラム → ASUS Utility → WL-700gE Wireless Router → Download Master に進み、File → Connect をクリックし、WL-700gE と関連付けてください。



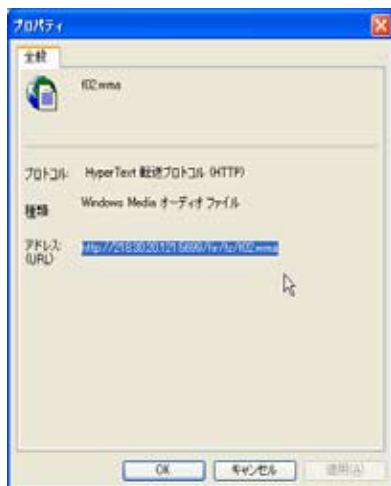
2. HTTP のダウンロード (1)

ウェブページのリンクを右クリックし、Download using ASUS Download を選択します。

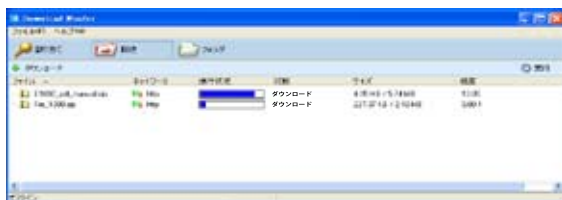


HTTP のダウンロード (2)

ウェブページのリンクを右クリックし、プロパティを選択し、下の写真のようにアドレス (URL) をコピーします。



Download using ASUS Download を選択した場合は、「転送」リストにダウンロードタスクが追加されます。青いバーはダウンロードの進行状況を表示します。



ダウンロードアドレスをコピーした場合は、ユーティリティの「割り当て」ボタンをクリックし、「以下よりファイルを取得」の空欄にアドレスを貼付けます。オプションから「HTTP」を選択し、「ダウンロード」ボタンをクリックしダウンロードを開始します。



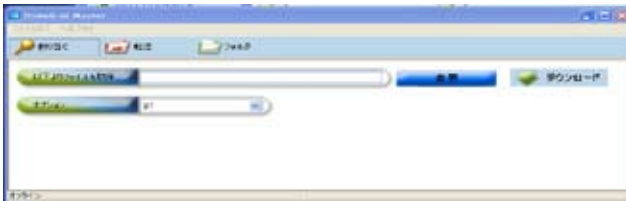
3. FTP のダウンロード

Download Master の「転送」ボタンをクリックし、「オプション」からFTPを選択します。FTPサイトのアドレス、ポートナンバー、ユーザーネーム、パスワードを入力し、「ダウンロード」をクリックしてダウンロードを開始します。



4. BT のダウンロード

BTシードをコンピュータに保存してください。Download Master の「転送」ボタンをクリックし、「オプション」からBTを選択します。「参照」をクリックしシードファイルを指定し、「ダウンロード」をクリックしダウンロードを開始します。



5. 「フォルダ」ボタンをクリックしダウンロードファイルを表示します。「Complete」フォルダを開き、ダウンロードしたファイルを確認したり、ローカルハードディスクにコピーしたりできます。未完了タスクは「InComplete」フォルダに収納されます。



4) ウェブサイトで写真を共有する

WL-700gE に写真をアップロードして写真を共有します。

1. スタート → すべてのプログラム → ASUS Utility → WL-700gE Wireless Router → Photo Album Exporter の順に進み、写真アップロード用のユーティリティを開きます。
2. 新しいアルバムに名前を付け、説明を加えて、「次へ」をクリックします。



3. 「追加」をクリックして、ローカルハードドライブからアルバムに写真を追加します。



4. プレビュー画面を参考にして、アップロードする写真を選択し、「追加」をクリックします。



5. 選択した写真は下のウィンドウに表示されます。矢印をクリックして写真の順番を調節し、「OK」をクリックします。



- 「説明」をクリックして、それぞれの写真に説明を加え「次へ」をクリックします。



- 写真がアップロードされます。アップロードには数分かかります。



- ウェブ設定画面にログインします。初期設定値のログインネーム:「admin」、パスワード:「admin」と入力します。



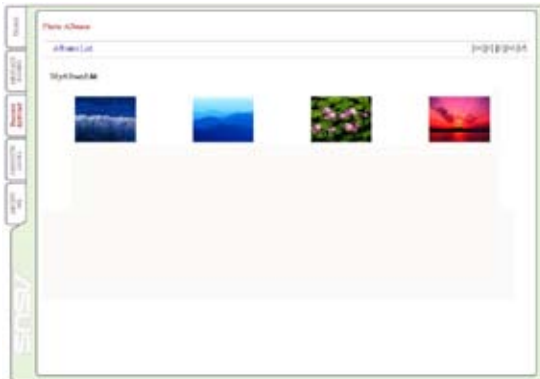
9. 「Personal Webpage」をクリックします。



10. ウェブサイトにアルバムが更新されていることを確認してください。写真を確認するにはアルバムをクリックします。



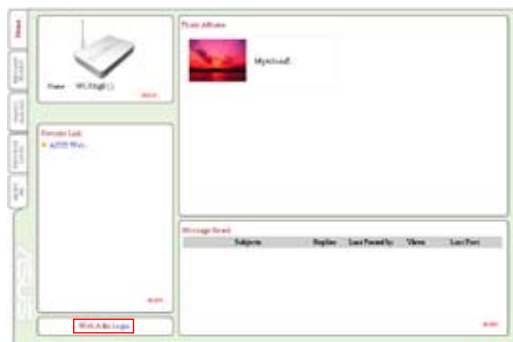
11. ウェブサイトの訪問者は写真を閲覧し、コメントを記入することができます。



5) Message Board (メッセージボード)

Message Board をセットアップしてブログを作成することができます。

1. 左下にある「Login」をクリックします。



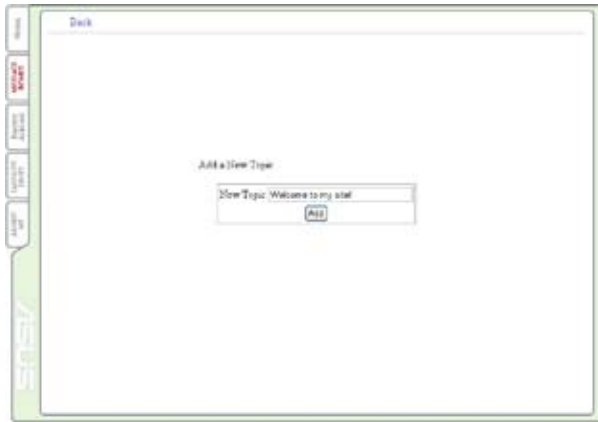
2. 初期設定値; Login Name: admin、Password: admin と入力し、「Login」をクリックしウェブサイトのホームページを開きます。



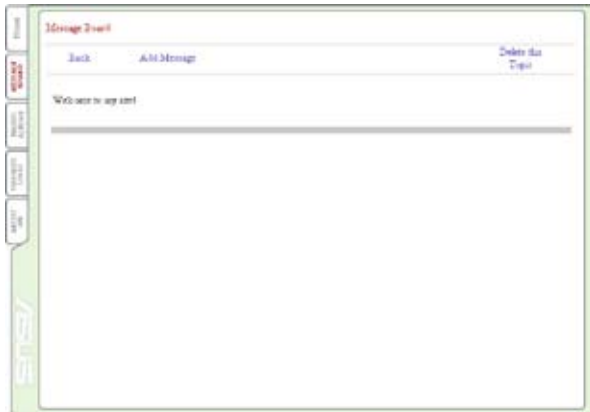
3. 「Message Board」→「New topic」の順にクリックします。



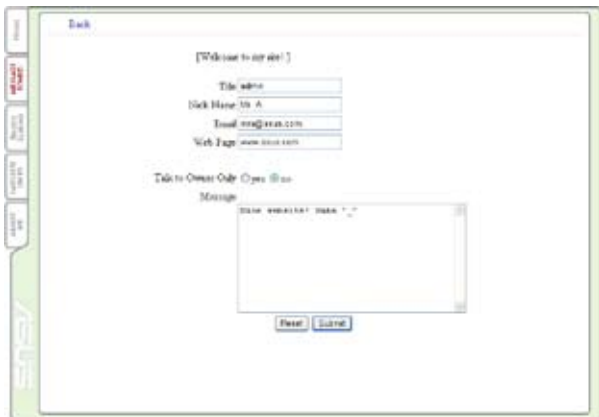
4. トピックを入力し「Add」をクリックします。



5. 「Add Message」をクリックします。



6. 各フィールドを入力し、「Submit」をクリックするとメッセージが送信されます。

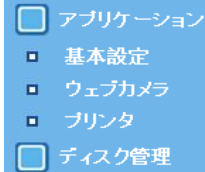


7. メッセージボードの作成完了です。



6) ウェブカメラ

ASUS 無線ルータは、USB ウェブカメラ用のアプリケーションを何種類か導入しており、画像を取り込んでインターネット上で共有することができます。この機能を利用するには、USB カメラを WL-500W に接続し、ウェブブラウザに対して ActiveX を有効に設定する必要があります。



ウェブカメラ

1. USB アプリケーションフォルダで、「ウェブカメラ」をクリックします。
2. 「ウェブカメラを有効にしますか」を「LAN Only」に設定すると、LAN ユーザーに対しウェブカメラの使用が有効となります。「LAN」および「WAN」を選択すると、LAN ユーザーと WAN ユーザーに対しても、ファイアウォールを通してウェブカメラの使用が可能となります。

「ウェブカメラモード」 - ドロップダウンリストからカメラモードを選択します。ここで「ActiveX Only」を選択すると Windows® IE プラットフォームで ActiveX クライアントを実行し最高の画質を得ることができます。「ActiveX and Refresh」は IE やその他のブラウザの基本的な画像を取得することができます。「Refresh Only」は、特定間隔で更新される静止画をすべてのユーザーに提供します。



「ウェブカメラドライバ」 - ウェブカメラを無線ルータの USB 2.0 ポートに接続すると、適切なドライバが自動的に選択されます。利用可能なウェブカメラモデルについては、ASUS ウェブサイト (www.asus.com) のウェブカメラサポートリストをご覧ください。

「イメージサイズ」 - ドロップダウンリストからイメージ (画像) のサイズを選択します。320 x 240 は大きな画像、160 x 120 は小さく、転送速度の速い画像です。「プレビュー」をクリックすると効果が確認できます。

「感度レベル」 - 画像の動きをキャッチする感度を示します。

「更新時間 (秒)」 - 画像が再読み込みされる間隔を秒で示します。設定範囲は 1 ~ 65535 です。

「ActiveX ポート」 - サーバが ActiveX クライアントと通信するためのポートを示します。

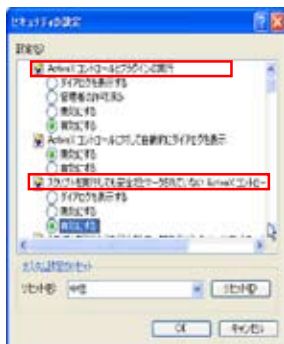
IE に対し ActiveX を有効にする

Internet Explorer® をご利用の場合、ウェブカメラを使用するには ActiveX を正しく設定する必要があります。Netscape やその他のブラウザを使用しているクライアントはこの設定は不要です。

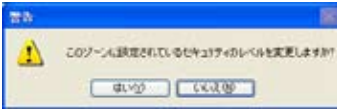
1. Internet Explorer 5.0 以上のブラウザを開き、「ツール」→「インターネットオプション」をクリックします。
2. 「セキュリティ」タブを選択し、「レベルのカスタマイズ」ボタンをクリックします。



3. 右下の4枚の写真の赤で囲んだ項目を全て「有効にする」に設定し、「OK」をクリックしてください。



4. 「はい」をクリックしセキュリティ設定を変更します。



ウェブカメラを WAN ユーザーに開放する

DDNS が正しく設定されると、インターネット上のどこからでも作業環境を監視することができます。動的 WAN IP アドレスを使用している場合も監視は可能です。カメラで何らかの動きが検出されると、WL-700gE は画像を撮影し、これを指定されたメールアドレスに送信します。

1. 「セキュリティモードを有効にしますか」 - 下記で設定する日付と時刻にセキュリティ機能を有効にするには、「Yes」を選択します。

「セキュリティモードを有効にする日」 - セキュリティモードを有効にする日付を指定します。

「セキュリティモードを有効にする時刻」 - セキュリティモードを有効にする間隔を指定します。

「宛先」 - WL-700gE からの画像を送信する宛先のメールアドレスを入力します。

「E メールサーバ」 - メール通信で使用するメールサーバを示します。この欄を空欄にすると、WL-700gE は「宛先」欄で設定されたメールサーバを使用します。

「件名」 - メールの件名です。

「イメージファイルを添付しますか」 - 撮影された画像をメールに添付します。

7) 共有プリンタをセットアップする

WL-700gE 無線ルータの USB2.0 ポートに USB を接続し、ネットワーク内でプリンタを共有することができます。セットアップ手順は以下の通りです。

1. WL-700gE の USB2.0 にUSB プリンタを接続します。プリンタの電源を ON にしてください。
2. WL-700gE のウェブ設定画面で「アプリケーション」→「プリンタ」の順に進みます。WL-700gE が認識したプリンタが表示されていることを確認してください。



3. ウェブブラウザを開き「//192.168.1.1」と入力したら Enter を押し、プリンタアイコンをクリックします。



Windows XP におけるプリンタクライアントの設定

次のステップに従って、ネットワークプリンタをクライアントにインストールします。

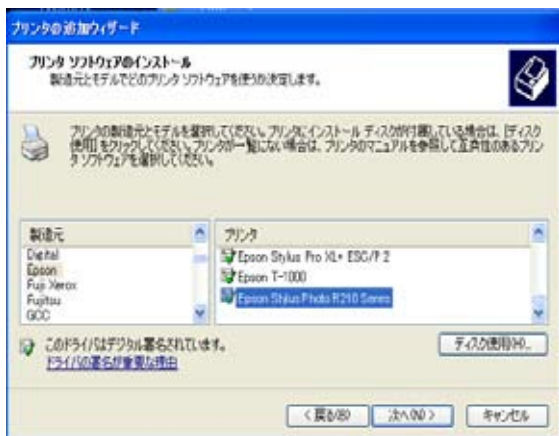
1. 「スタート」 → 「プリンタと FAX」 → 「プリンタのインストール」 をクリックし、「プリンタの追加ウィザード」を実行します。



2. 「このコンピュータに接続されているローカルプリンタ」を選択し、「次へ」をクリックします。



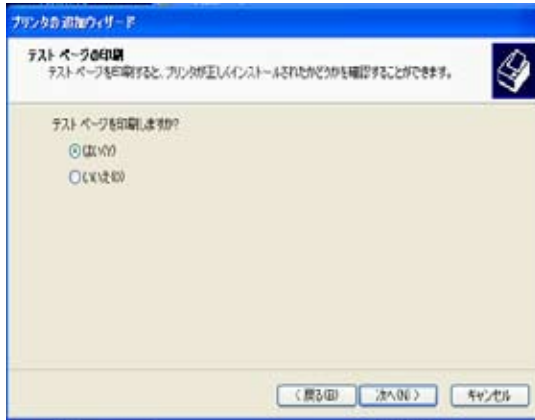
3. プリンタドライバを選択し「次へ」をクリックしてインストールします。リストにプリンタがない場合は、「ディスク使用」をクリックし、ドライバを指定してください。



4. 「次へ」をクリックし、プリンタの既定の名前を承認します。



5. 「はい」を選択し、テストページを印刷します。「次へ」をクリックしテスト印刷します。



6. 以上でインストールは完了です。「完了」をクリックし、「プリンタの追加ウィザード」を終了します。

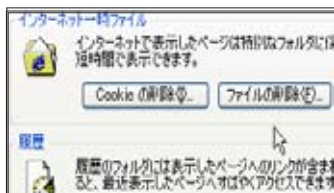


7. プリンタ共有セットアップの完了です。



5. トラブルシューティング

1). ルータ設定を行うウェブ画面にアクセスできません



1. ウェブブラウザを開き、「インターネットオプション」のダイアログボックスを開きます。
2. 「Cookieの削除」および「ファイルの削除」をクリックします。

2). 無線接続を確立できません

範囲外：

ルータをクライアントの近くに設置してください。

チャンネル設定を確認し、変更してみてください。

認証設定の不一致：

イーサネット対応のコンピュータを利用し、無線ルータに接続します。

無線セキュリティ設定を点検するか、またはルータのハードウェアリセットを実行します。

ルータを読み込めません

ルータをハードリセットし、もう一度検索してください。

無線アダプタの設定 (SSID、暗号化設定など) を点検してください。

3). 無線LANアダプタからインターネットに接続できません

ルータをクライアントの近くに設置してください。

無線アダプタが正しいAPに接続されているかどうか確認してください。

無線チャンネルが、お住まいの国/地域で利用可能なチャンネルを選択しているかどうかを確認してください。

ルータとクライアントの両方で暗号化設定を確認してください。

WANポートにADSLケーブルが接続されているかどうか、点検してください。

他のイーサネットケーブルを利用してみてください。

4). インターネットに接続できません

ADSLモデムと無線ルータのLEDインジケータを点検します。

無線ルータの“WAN”LEDが点灯しているかどうか確認します。LEDが点灯していない場合は、イーサネットケーブルを交換し、もう一度やり直してください。

ADSL モデムの “Link” ランプが点灯している、インターネットアクセスが可能であることを意味します。

コンピュータを再起動します。

ASUS 無線ルータ の設定を再確認します。WL-700gE のクイックスタートガイドをご覧ください。

無線ルータの WAN LED が点灯しているかどうかを確認します。

無線暗号設定を確認します。

コンピュータが IP アドレスを取得できるかどうかを確認します。(有線ネットワークと無線ネットワーク経由)

ご利用の ウェブブラウザがローカル LAN を使用するよう設定されているかどうかを確認します。また、プロキシサーバの使用が解除されているかどうかを確認します。

ADSL “LINK” インジケータがずっと点滅または消灯している場合、インターネットへのアクセスはできません。このため、ルータは ADSL ネットワークなどと接続できません。

お使いのケーブルが正しく接続されているかどうか確認します。

モデムから電源ケーブルを取り外し、数分経過した後で、再度ケーブルに接続してください。

ADSL ランプがこのまま点滅や点灯を続ける場合、ADSL 通信事業者にお問い合わせください。

5). ネットワーク名または暗号キーが不明です

無線暗号機能を設定する前に、まず有線接続を確立してください。

ルータをハードリセットします。

6). 初期設定へのリセット

下記は工場出荷時の初期設定です。これらの値は、初めて ASUS 無線ルータを受け取ったときにあらかじめ設定されています。または、ASUS 無線ルータの裏面にあるリセットボタンを 5 秒間押すか、またはウェブ管理機能の「Advanced Setup (詳細設定)」の「Factory Default (工場出荷時の初期設定)」にある「Restore (リセット)」ボタンをクリックします。

ユーザー名 :admin サブネットワークマスク :255.255.255.0

パスワード :admin DNS サーバ 1: 192.168.1.1

DHCP を有効にする : 「Yes (はい)」 (WAN カードを接続している場合)

DNS サーバ 2:(空欄)

IP アドレス :192.168.1.1 SSID: default

ドメイン名 :(空欄)

トラブルシューティング

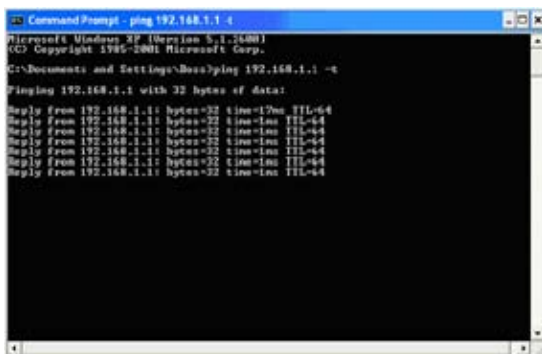
1. WL-700gE 無線ルータに電源を入れ、LED が正常に点灯することを確認してください。



2. ASUS 無線ルータ Utility が正しくインストールされていることを確認してください。



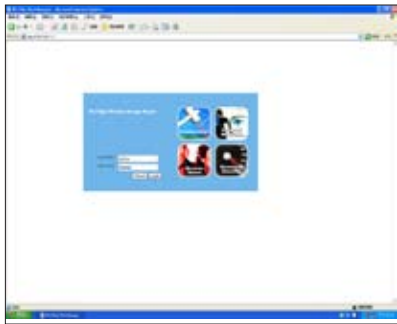
3. コンピュータから WL-700gE にPing を打ってください。スタート → ファイル名を指定して実行、cmd と入力し OK をクリックします。コマンドプロンプトで ping 192.168.1.1 と入力し Enter を押します。タイムアウトになった場合は、コンピュータがルータにアクセスできないということになります。IP アドレスを覚えていない場合は、ルータをリセットする必要があります。



4. リアパネルの RESET ボタンを5秒以上押します。



5. WL-700gE のウェブ設定画面にアクセス可能で、ウェブインターフェースで機能設定が可能かどうかを確認します。



6. 無線ルータが設定可能で、無線で Internet に接続可能かどうかを確認します。

